

15 谷浜・桑取区

凡例	
◎ 市役所	
■ 居住誘導区域	
■ 都市機能誘導区域	
■ 誘導重点区域	
■ 地域自治区	
人口分布 250mメッシュ	
P2年 総人口密度	
40人/ha以上	
洪水浸水想定区域	
5.0m以上	
3.0m以上～5.0m未満	
0.5m以上～3.0m未満	
0.5m未満	
家屋倒壊等氾濫想定区域	
河岸侵食	
氾濫流	
津波災害警戒区域	
内水被害警戒箇所	
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	
ため池浸水想定区域	
なだれ危険箇所	
垂直避難困難	
垂直避難可能	
要配慮者施設	
△ 水害緊急避難場所	
▲ 土砂災害緊急避難場所	
▲ 津波緊急避難場所	

図中番号凡例

- ①-1 洪水災害(計画規模)
- ①-2 洪水災害(想定最大規模)
- ①-3 多段階浸水被害(降雨確率)
- ② 土砂災害
- ③ 津波災害
- ④ 内水災害
- ⑤ ため池災害
- ⑥ なだれ災害

誘導区域内

誘導区域外

※災害ハザードのうち「①-3 多段階浸水被害」は図示していません。

0 1km 2km

N

s/

一定の災害リスクは存在するが、人口密度が低いエリア

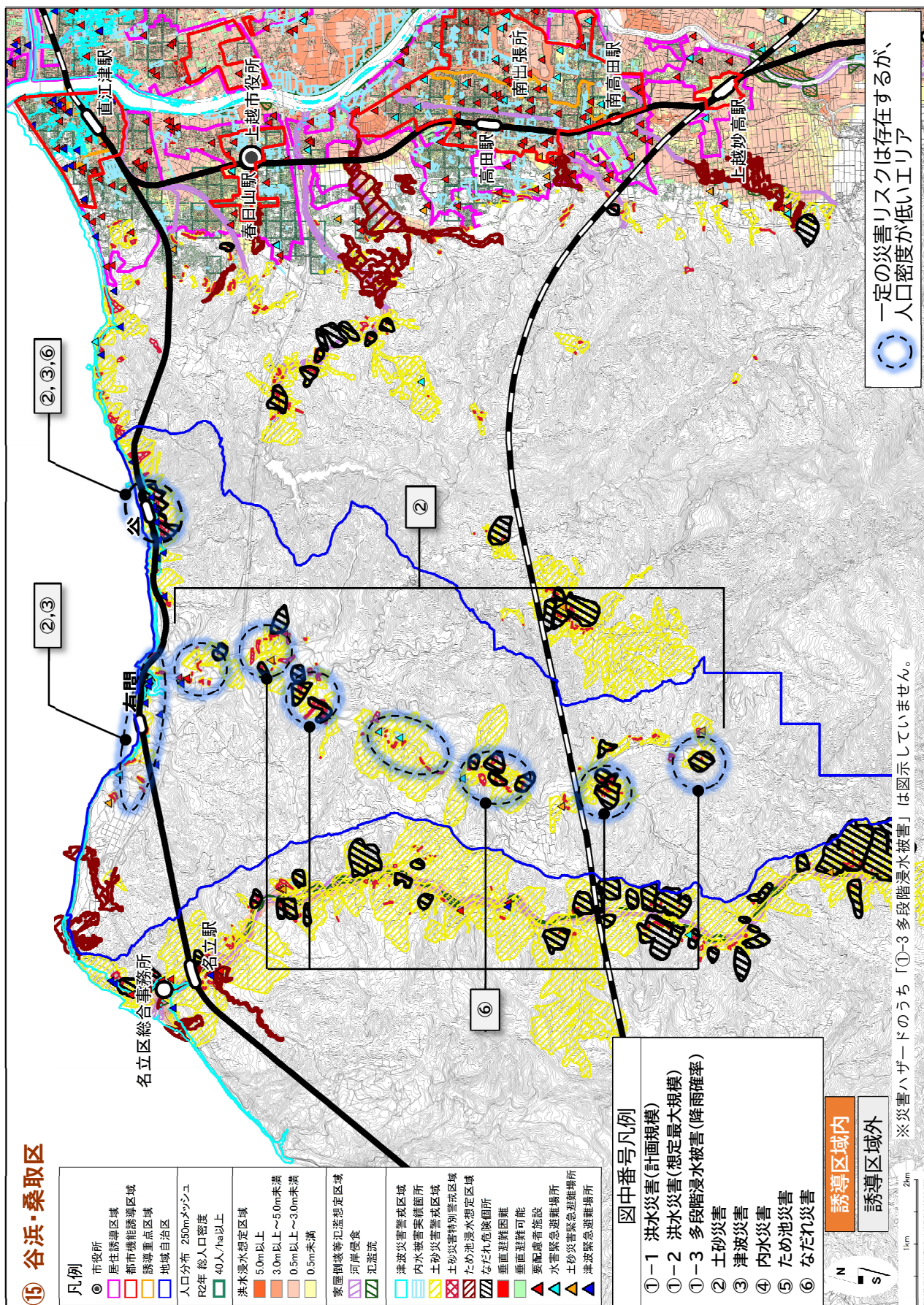


表 災害リスクの整理 (⑮谷浜・桑取区)

災害ハザード	災害リスク	含まれる 誘導区域(*)			
		居	都	重	外
①ー1 洪水災害 (計画規模)	本地域自治区を流下する桑取川水系の洪水浸水想定区域図は令和3年2月時点で公表されていないため本調査の対象外	—	—	—	—
①ー2 洪水災害 (想定最大規模)	本地域自治区を流下する桑取川水系の洪水浸水想定区域図は令和3年2月時点で公表されていないため本調査の対象外	—	—	—	—
①ー3 多段階 浸水被害 (降雨確率)	国が管理する関川水系(関川及び保倉川)からの氾濫を想定した災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
② 土砂災害	日本海沿岸部及び区中央部を南北に流れる桑取川沿いの集落部において、土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域が多数指定されており、高齢者人口割合が高いエリアとの重複が見られ、災害リスクが存在する。	—	—	—	●
③ 津波災害	日本海沿岸部において、津波災害警戒区域が指定され、沿岸の集落部で高齢者人口割合が高いエリアとの重複が見られ、災害リスクが存在する。	—	—	—	●
④ 内水災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
⑤ ため池災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
⑥ なだれ災害	土砂災害と類似したなだれ危険箇所が見られ、一部高齢者人口割合の高いエリアと重複しており、それら集落部において災害リスクが存在する。	—	—	—	●

(*) 居:居住誘導区域、都:都市機能誘導区域、重:誘導重点区域、外:誘導区域外、—:該当なし

【居住誘導区域内の災害リスクについて】

居住誘導区域の指定なし